

## A -5 『交換・分合』 について

土地区画整理の事業について話し込んでみると、時折、少々年配の方から“交換分合”という言葉が出てくる。「交換」も「分合」も直ぐに想起できるのでそれ程混乱するものではないが、この用語はそもそも何だろうか？ という感じがなくもない。

尤も、今では自分の方から話の随所に織り込んで説明し、話に弾みをつけてる場合もあって、なんとなくコソバユイところがある。

今更、深く詮索・探求するつもりは全くないが、何はともあれ語感といい、字句から思い至る事業の技術的態様についてのストレートな感触が良い。必要により分けたり、合わせたりして、土地どうしを交換して整理される、と思えば「換地」と表現するより、どこか土地のあり方として馴染むような気がするから不思議なものだ。

どうやらこの用語は「耕地整理事業」辺りから来ているような感じで受け取っていたが、今回はこの『交換・分合』の用語としての源流辺りを散策してみたい。

因みに、国語辞典からは次の語彙が伺える。

- ・交換 …… ①物と物とをとりかえること。やりとりすること。〔物々交換〕  
②民法上、当事者が互いに金銭以外の財産の所有権の移転をなす契約 〔交換契約〕
- ・分合 …… 分けることと、合わせること。  
分割と併合 〔農地の交換——〕
- ・換地 …… 土地を交換すること。又替地  
〔区画整理のため——する〕

区画整理事業が実施された某市の区民報に掲載された、交換・分合の用語に係わる非常に興味深い記事があるので、ついでに紹介してみることとします。

執筆者は郷土研究家で、又、該区画整理事業の権利者でもあり『街角の歴史を訪ねて』と題するコラムを連載されていた。以下、掲載記事の部分抜粋で原文のまま

### 【耕地整理法 明治 32 年 3 月公布】

耕地整理の目的について、耕地整理法によると「耕地整理と称するものは、耕地の利用を増進する目的を以って、所有者共同して、**土地の交換、若しくは分合、区画形状の変更及道路畦畔若しくは溝渠の変更廃置を行ふを謂ふ**」と位置づけられている。

このことは、耕地の中でも特に水田の区画が狭く、耕作がしにくく大変に人手がかかるという不便を強いられてきたことや土地所有者が散在し、農業経営上効率があがらない点が指摘された。そこで、水田の区画を整え、土地所有者が散在

している土地の交換・分合を進め、さらに余分な畔を取り除くなどし、土地整理を行い増産を図るという趣旨であった。

もっとも、同氏によると、「法の制定公布以前（明治 20 年頃）に、石川県石川郡上安原村では郡費をもって耕地整理を実行し良好な成果を上げていて、日本最初の耕地整理が行われたのではないか。」と推測されており、「しかし、当時の多くの農家の人々の考え方は旧態依然とした状況にあった。」と解説されている。

又、明治 26 年に農商務省が刊行した『土地整理論』において、“土地整理事業の法制の必要性と、当時の状況”が記述されている、として引用されているので、取上げてみたい。

「土地整理事業ハ、所有権、使用权及小作権ニ関係ヲ及スノミナラス少数ノ不同意者ヲシテ多数ノ同意者ニ黙從セシムヘキ必要アルカ故ニ其迅速普及センコトヲ欲スルトキハ必スヤ法律ノ制定ヲ必要トスヘシ、帝国ニ於テ早晚其施行ヲ見ルノ期アルヘシト雖、今日ハ未タ其時機ニアラスト思惟ス、何トナレハ本邦ノ農民未タ土地整理ノ何タルヲ解スル者稀ニシテ殊ニ共同ノ事業ニ慣レサル」

《雑感》当時、よき時代とはいえ先祖伝来の大切な土地、偉い人の采配だからといって、分合したり以前と異なる場所に地積が少なくなって再配置されることに、安直に従ったわけでもないだろうから、当時としても、客観的かつ合理的な説明のできる設計（位置と数量）がなされたことではあろう。

尤も、現代の区画整理の換地設計と同じ手法であったかどうか、有識者のご意見を待ちたいところです。

設計となれば、「価値」に着目して計算がなされたであろう事は想像に難くない。そして、その場合の価値判定の要素は、耕地整理にあつては、現土地区画整理法第 89 条の「照応換地の原則」で規定されているとおり

**位置、地積、土質、水利、利用状況、環境等**

がそのまま当てはまりそうですが、それを駆使した交換の設計は大変だったのではなかろうか。等と無責任な感想を抱いてしまう。

現在の区画整理事業における土質・水利等の法定要件には、聊か疑問を感じてしまいましたが、土地区画整理法の源流が「耕地整理法」であったと云われてみれば、得心できることがあります。

ここで、上記照応の要素6項目の暗誦方法を一緒に遊んでみましょう。  
説明する場合に、よく“位置とか面積とか…その外いろんな要素を計算して…”  
等といった口籠もってしまいますが、折角ですから6項目は「諳んじる」  
ようにしましょう。 私はこの点について次の様に覚えています。

① 位置	い	居酒屋で
② 地積	ち	チドリになるまで
③ 土質	ど	ドンチャン騒ぎ。
④ 水利	す	すっからかんで
⑤ 利用状況	り	理性を戻し、
⑥ 環境	か	母ちゃんの外に帰ろかな!!

遊びが過ぎた感がありますが、古来愛唱されている「徳川十五代歴代将軍名」の暗記法に代表されるような有効な方法もありますので、序列等の記憶法をそれぞれ自分流に組み立てていく事を提案します。それらは忘れ難く、何かの場面で結構役に立つ場合がキットあるものです。

私は、仕事に関して外にも『事業損失の形態分類、農業経営費の項目』等を試みています。

以 上